

## 2 宇部市立小野小学校の社会見学を活用した消費者教育授業の実践事例

### ◇ 消費者教育授業の実践事例 第5学年 家庭科「じょうずに使おう お金ともの」

#### 1 学校名・職氏名

宇部市立小野小学校 教諭 藤井 敬之

#### 2 児童

第5・6学年 8人

#### 3 学習指導案

##### (1) 題材名

じょうずに使おう お金ともの

##### (2) 題材設定の理由

本学級の児童（5年男子2名・女子4名、6年男子2名）は、5年生から家庭科が始まり、どの児童も意欲的に学習に取り組んでいる。特に、調理や製作などの実習に関心が高い。一方で、自分の生活をよりよくしようとする考えをもちながら、実際に実行しようとする児童は少ない。また、3世代同居が多く、大切に育てられてきている反面、自分で判断して行動しようとするのが難しい児童が多い。

購買行動の経験は、校区内に買い物ができる施設がほとんどないため、地域の祭りの出店での購買行動はあるが、多くの商品が並ぶ大型スーパーなどでの購買行動の経験はほとんどない。

本単元は、買い物の計画を立てたり、実際に買い物をしたりすることを通して、よりよい買い物の仕方について追求していく学習である。商品を選ぶ際、品質表示に表記されてある情報から商品の特徴に気付き、目的に応じて選ぶことになる。自分の選び方と友達を選び方を比較し、共通点や相違点を見出しながら、目的に応じて自分にあった消費行動を取ることの大切さについて気付かせたい。また、本単元の学習をするにあたり、今回、山口県消費生活センターの「見て・聞いて・触れて学ぼう消費者教育事業」で、大型スーパー、道の駅、牧場、牛乳工場を見学する機会を得た。そこで毎日給食で飲んでいる牛乳について取り上げ、牛乳が工場でのどのようにして製品化され、学校やスーパーなどに届けられているのかを実際に見学することで、生産者の願いや努力を知る、地産地消の大切さを実感する、販売店の願いや努力を知ることができると思う。

そこで指導に当たって、以下のことに留意することとした。

- ・商品の選び方や買い方について、友達に伝えたり、友達の考えと比較したりすることで、一人ひとり価値観が違うことに気付くことができるようにする。
- ・品質表示・価格などから商品の特徴を調べることで、目的に応じた選択をすることの大切さに気付くことができるようにする。
- ・牧場や牛乳を製品化している工場、スーパーなどを見学することで、生産者の願いや、大切にしていることや、地産地消の大切さに気付くことができるようにする。

(3) 題材の目標

- 商品の表示などから得られる情報を収集・整理して、自分にあった商品の選び方や買い方ができるようにする。
- 身近な物の選び方、買い方について関心をもち、自分にあった消費行動をしようとする思いをもつことができる。

家庭生活への関心・意欲・態度	生活を創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての知識・理解
食品・製品や金銭の計画的な使い方に関心をもち、適切に買い物しようとしている。	食品・製品や金銭の計画的な使い方と適切な買い物について課題を見付け、その解決を目指して考えたり、自分なりに工夫したりしている。	食品・製品や金銭の計画的な使い方と適切な買い物に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	食品・製品や金銭の計画的な使い方と適切な買い物について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。

(4) 全体の指導計画（全5時間）




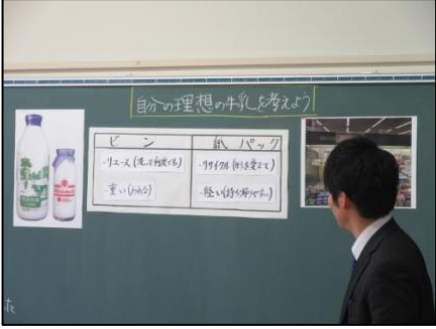
- 第1次 金銭や物の大切さに気付き、その使い方に関心をもち。(1時間)
- 第2次 食品や製品の選び方、買い方について交流する。(3時間)【本時3/3】
- 第3次 食品や製品の物の選び方、買い方について考え、学習を振り返る。(1時間)

(5) 本時の指導

- ① ねらい 社会見学で学習したことを基に自分にあった牛乳を考える活動を通して、食品や製品の特徴に気付き、自分にあった消費行動を考えることができる。
- ② 準備物 写真 牛乳のパッケージ ワークシート タブレット 電子黒板
- ③ 学習過程 次ページ
- ④ 板書計画

12/6 自分にとって理想の牛乳を考えよう

社会見学 (11/22) ・ビンづめが早かった。 ・サンパークは紙パック、道の駅はビンで売られていた。 ・西本牛乳は安い。 ・牛乳は牛の子どもに与える物を飲んでいる。	ビン 写真	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">ビン</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">紙パック</th> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">                     ・重い (われる)                      ・リユース (洗って何度でも)                 </td> <td style="padding: 5px;">                     ・軽い (持ち帰りやすい)                      ・リサイクル (形を変えて)                 </td> </tr> </table>	ビン	紙パック	・重い (われる) ・リユース (洗って何度でも)	・軽い (持ち帰りやすい) ・リサイクル (形を変えて)	紙パック 写真	<p style="text-align: center;">品質表示</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">種類</td> <td style="padding: 5px;">牛乳・加工乳・乳飲料</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">殺菌方法</td> <td style="padding: 5px;">85℃15分 130℃3秒</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">賞味期限</td> <td style="padding: 5px;">5日 2週間</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">産地</td> <td style="padding: 5px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">容器</td> <td style="padding: 5px;">ビン 紙パック</td> </tr> </table>	種類	牛乳・加工乳・乳飲料	殺菌方法	85℃15分 130℃3秒	賞味期限	5日 2週間	産地		容器	ビン 紙パック
ビン	紙パック																	
・重い (われる) ・リユース (洗って何度でも)	・軽い (持ち帰りやすい) ・リサイクル (形を変えて)																	
種類	牛乳・加工乳・乳飲料																	
殺菌方法	85℃15分 130℃3秒																	
賞味期限	5日 2週間																	
産地																		
容器	ビン 紙パック																	
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 33%; text-align: center;">牛乳</th> <th style="width: 33%; text-align: center;">加工乳</th> <th style="width: 33%; text-align: center;">乳飲料</th> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">                     ・成分無調整                      ・殺菌                      ・賞味期限短                 </td> <td style="padding: 5px;">                     ・低脂肪・無脂肪・特濃                      ・栄養価が牛乳と異なる                 </td> <td style="padding: 5px;">                     ・牛乳以外も入っている(カルシウムなど)                      ・賞味期限長                 </td> </tr> </table>					牛乳	加工乳	乳飲料	・成分無調整 ・殺菌 ・賞味期限短	・低脂肪・無脂肪・特濃 ・栄養価が牛乳と異なる	・牛乳以外も入っている(カルシウムなど) ・賞味期限長								
牛乳	加工乳	乳飲料																
・成分無調整 ・殺菌 ・賞味期限短	・低脂肪・無脂肪・特濃 ・栄養価が牛乳と異なる	・牛乳以外も入っている(カルシウムなど) ・賞味期限長																

	学習活動・内容	教師の働きかけ
つかむ	<p>1 11月に行った社会見学について振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>品物がいっぱいあった。</li> <li>牛乳の種類がいっぱいあった。</li> <li>買い物できて楽しかった。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会見学が終わった後に書かせた感想を配付し、振り返ることができるようにする。</li> </ul> 
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自分にとって理想の牛乳を考えよう</div>		
追究する	<p>2 給食の牛乳と市販の牛乳の違いを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全く同じ牛乳はなかった。</li> <li>いろいろなメーカーの牛乳があった。</li> <li>同じメーカーでも違う牛乳があった。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>牛乳の種類や容器の違いなどに気付くように給食の牛乳や社会見学のときに購入した牛乳などの写真を提示する。</li> <li>給食に出てくる牛乳とお店のほとんどが紙パックであったことに触れ、その違い（重さ・利用後の処理）を板書し、表にまとめる。</li> <li>牛乳パックやビンを洗った際の水の処理の仕方について確認することで環境への影響についても考えさせる。</li> <li>昔はビンの牛乳が多かったことや今でもビンの牛乳を売っていることも情報として提供する。</li> </ul> 
深める	<p>3 どんな牛乳があったのかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パッケージに量やメーカーが書いてあった。</li> <li>四角い枠にいろいろなことが書いてある。</li> <li>牛乳と乳飲料と種類が違っていた。</li> <li>乳飲料の方が賞味期限が長い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の購入した牛乳のパッケージを観察させる。また、友達のパッケージとも見比べ違いを確認させる。</li> <li>友達の牛乳との違いはどこで分かったかを考えさせる。</li> <li>品質表示に気付くように出てきた意見を集約</li> </ul>



まとめ

- 4 自分にとって理想の牛乳の品質表示を作る。
- ぼくは少しずつしか飲まないから、賞味期限が長い牛乳にしよう。
  - おいしい牛乳が好きだから成分無調整がいいな。



- 5 学習の振り返りを行う。



する。また、種類やメーカー、形状などを板書し、まとめる。

- どのようなことが品質表示に書いてあったかを確認させる。
- 話し合いの中で出てこなかった牛乳の種類があれば紹介する。(成分調整牛乳や加工乳など)



- 品質表示としてどのような情報を書けばよいのか視点(牛乳の種類・賞味期限・殺菌方法・産地・容器)を与える。

☆牛乳の品質表示について理解できたか。

【知識・理解】

☆自分にとって理想の牛乳を考えることができたか。【関心・意欲・態度】



- 「今日の学習で分かったこと」、「今後生かしたいこと」という視点で学習を振り返らせる。



評価 【関心・意欲・態度】自分にとって理想の牛乳を考えることができる。

【知識・理解】牛乳のビンと紙パックの違いについて理解できる。

牛乳の品質表示について理解できる。

《配布資料》

## 自分にとって理想の牛乳の品質表示を作ろう

名前( )

牛 乳

**品質表示**

**種類**

**殺菌方法**

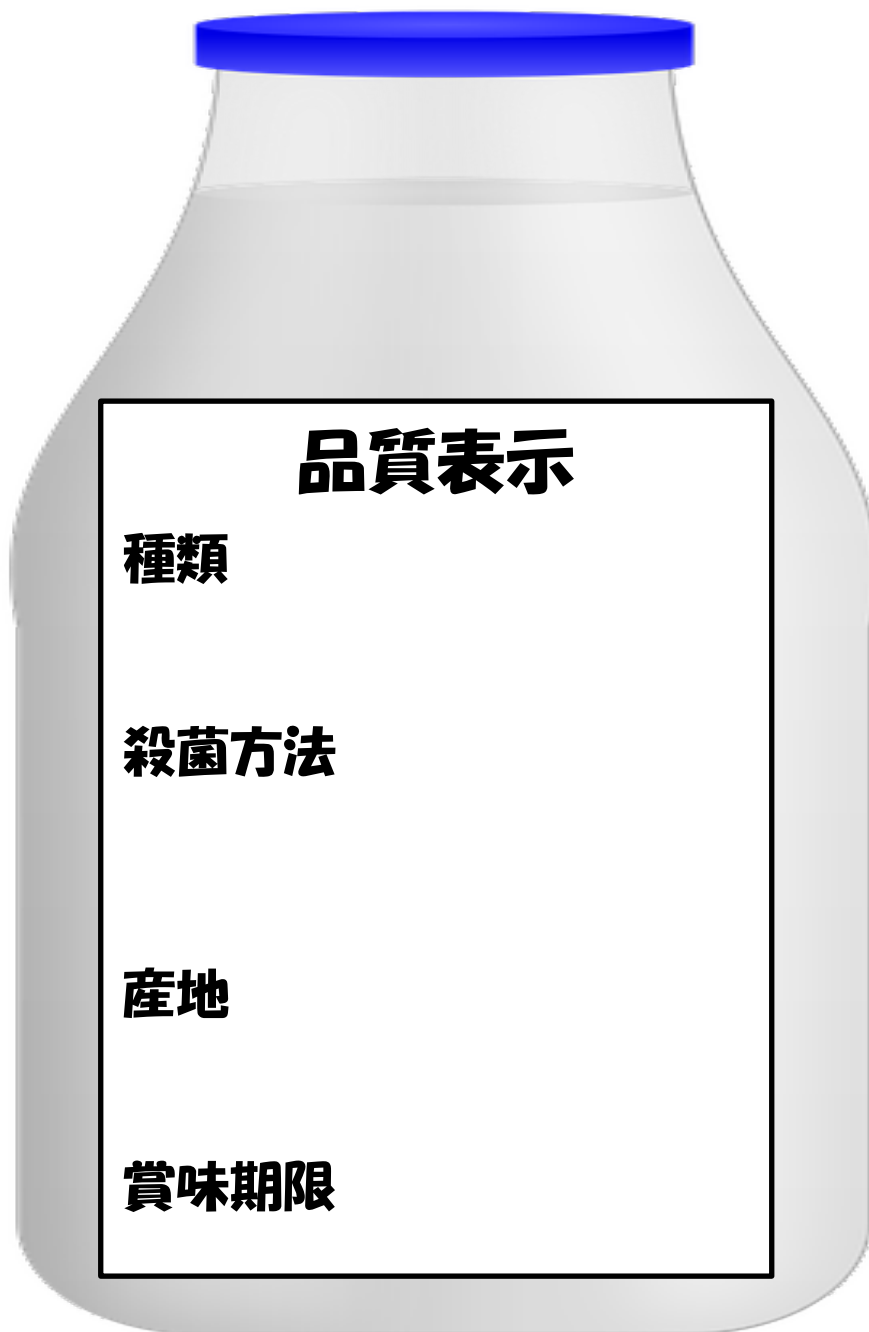
**産地**

**賞味期限** 上部に記載きさい

なぜそのような品質表示にしたのか理由を書きましょう。

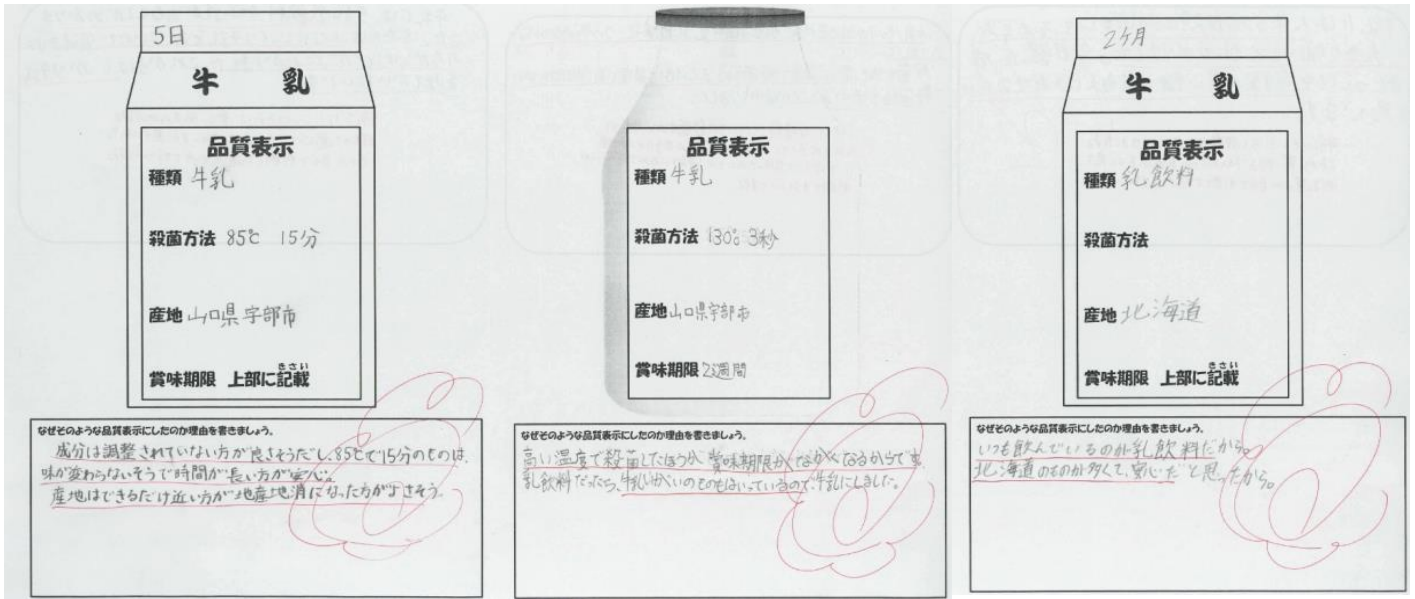
## 自分にとって理想の牛乳の品質表示を作ろう

名前( )



なぜそのような品質表示にしたのか理由を書きましょう。

《児童のワークシート》



4 指導上の工夫

- ・ 普段、給食で飲んでいる牛乳が学校やスーパーに届けられるまでの過程を工場や牧場、スーパーなどに見学に行くことによって意欲をもって学習に取り組むことができるようにした。
- ・ スーパーに見学に行った際に、昼食時に飲む牛乳を自分で選んで購入させ、自分の選び方と友達の選び方を比較することで、一人ひとりの価値観の違いに気付くことができるようにした。
- ・ 振り返りの授業を行う際に、自分の購入した牛乳の品質表示や価格などを調べたり、友達の牛乳と比較したりすることで、目的に応じて商品を選択することの大切さに気付くことができるようにした。
- ・ 自分にとっての理想の牛乳を一人ひとりが考え、友達の考えと比較することで自分にあった消費行動について考えることができるようにした。

5 授業者の感想

今回の「見て・聞いて・触れて学ぼう消費者教育事業」で授業をする機会をいただいて、とても充実した研修になった。私は、家庭科の授業、特に消費者教育という学習内容についてじっくりと考えて授業を行う機会はほとんどなかったので、この事業で消費者教育についてたくさんのことを学ばさせていただいた。牛乳一つとっても、今まで牛乳だと思っていた商品が、牛乳、加工乳、乳飲料と3つも種類があったことを私自身も初めて知り、自分にあった消費行動についてよく考えていかなければいけないなど実感した。本校の児童は校区の中に商業施設がほとんどなく、自分にあった消費行動を考え、実践する機会が非常に限られた中で生活しているので、今回の「見て・聞いて・触れて学ぼう消費者教育事業」では、児童、教員にとっても、とても意味のある実践であったと実感した。消費者教育は、生涯においてとても大切であり、また、環境教育とも深く関わっている。今後も家庭科の授業だけでなく、他の教科とも関連づけながら、自分にあった消費行動について考えることができる児童を育てていきたい。

## 6 成果と課題

### (1) 成果

児童の感想

- 牛乳、加工乳、乳飲料など、牛乳の種類が分かった。乳飲料は賞味期限が長くて、牛乳は短いと分かった。今度買い物に行くときは見てみたい。
- 普段、牛乳や加工乳など種類が書いてあるところはあまり見ていなかったのので、今度店に行ったときは見て買いたい。牛乳だけじゃないと思うので、他の商品もよく見てみたい。
- 牛乳はだいたい3つの種類に分かれていて、それぞれで大きく違うことが分かった。今日習った成分についても、今後の買い物でも考えに入れて見たいと思う。
- 牛乳には、牛乳、加工乳、乳飲料があることが分かった。普段はこんなにじっくりと牛乳を見ないので、賞味期限の違いなどがよく分かった。これからは、しっかりと牛乳を見て買いたい。
- 殺菌方法も高い温度で殺菌する方法と低い温度で長い時間をかけて殺菌する方法があることが分かった。今後は安さだけでなく殺菌方法や産地などを見てから選ぶと思った。

牛乳のパッケージに書いてある品質表示から牛乳の種類や品質をまとめることで、牛乳の他にも、加工乳や乳飲料や牛乳の種類や殺菌方法によって賞味期限や栄養価などが変わることを知って驚いていた。それを基に一人ひとりが自分の理想の牛乳についてじっくり考え、それぞれの理想の牛乳を考えることができた。自分や家族の生活習慣から牛乳の種類や殺菌方法、また、牛乳パックかビンかを選択することができた。授業を通して、牛乳を選ぶときの視点の広がりを感じた。牛乳を買うときは品質表示をよく見たいという児童や、牛乳だけでなく他の商品についても詳しく調べてみたいという児童もおり、生活につなげようとする姿が見られた。

### (2) 課題

牛乳の品質表示について難しい言葉や漢字が多いので、児童からのつぶやきや発見を教員がうまく拾い上げまとめていくことが大切である。自分にあつた消費行動について考えるきっかけとはなったが、なかなか実践できる機会がないので、他の教科とも関連づけながら、より意識が高まるようにしていく必要性を感じる。また、友達や家族の考えとも比較、共有しながら価値観の違いや様々な状況、環境の変化によって、消費行動が変化していくことも知っていく必要がある。

## 7 授業検討会での意見

### (1) 指導案検討の際の意見

- 授業で児童が物を選ぶという行為をしたほうがよい。2つか3つの中から選んで、どうしてこれを選んだのかグループで話し合い、その中で自分の意見がもてればよい。
- 子供のうちから選ぶことを積み重ねるのが大事。児童が「消費期限」とか「加工品」だからとか理由を付けて自分の選んだ理由を言えることが理想的。



**(2) 授業実施後の意見**

- 牛乳パックの表示を読むのは、児童にとって漢字が多く大変だったと思う。ただ、社会見学に行ったことで興味が深くなっていたようで、児童があきらめずに読んでいた。
- ワークシートの理想の牛乳について視点を5つに絞ったことで、児童の話し合いがスムーズにいった。
- 給食で身近に出る牛乳を題材に取り上げたのがよかった。授業の導入で社会見学を振り返り、給食の牛乳と普通の牛乳の差を考えさせたことで、子供たちが興味を持って授業に取り組んでいた。

**8 消費者教育アドバイザーの総評****(1) 消費者教育で育成したい力**

今回の社会見学と授業実践は、学習指導要領の改訂に伴う消費者教育のタイムリーな企画であり、「百聞は一見にしかず」という体験させることの重要性を強く感じさせる企画であった。

学校における消費者教育の実践では、指導方法がよくわからず、教科書を読んだだけの座学や学習ノートの整理で終わってしまう例がある一方、実践的・体験的学習活動を重んじるあまり、体験はさせたが何を学んだかが明確化されずに終わってしまう例もある。その点、今回の社会見学では、児童に何を見させ、何に触れさせ、何を感じさせ、何を学ばせたいかを明確にしたものとなった。

消費者教育では、よりよいものやサービスを選ぶ力、本当に必要なものであるかを判断する力、地球環境を考えて購入・活用できる力、家族や仲間の人間関係も考えて購入・活用できる力を培うことが必要である。悪質業者に騙されないためだけではなく、「良識のある市民」の育成を目指すためには、思考力・判断力・表現力の育成が必要である。加えて、その時の状況に応じたよりよい選択をするための判断過程や、自分の選択と他人の選択の違いや、その時の状況によって選択が変わってくることを意識できる「意思決定能力」、「生きる力」の育成が大切である。

**(2) 社会見学先の選定と児童の様子から**

美しい自然に囲まれた全校児童23名の小野小学校は、全複式学級の小規模校で、授業対象の5・6年生だけでなく、全校23名が一緒に社会見学を行った。5・6年生は、「牛乳を題材に生産者の願いや努力、地産地消等を学ぶ」ことを学習目標と設定した。

見学場所は、生乳生産の酪農農家、牛乳工場、牛乳を販売する店舗とし、牛から搾乳した生乳が家庭に届く順で見学をしたかったが、昼食場所の確保などを考慮して、牛乳生産者→大型小売店→道の駅（昼食）→酪農農家の順で行った。店舗の選定にあたっては、給食で提供される牛乳を販売していることや、商品が店頭並ぶまでの経緯、品質管理等を説明してもらえることを条件とした。また、バリアフリーやカートの使いやすさ、トイレの配慮等、買い物弱者の視点も考慮した。地元の小型店舗の見学も考えたが、商品の種類や配列等を比較する適切な店舗や商店街がなかったため、道の駅を選ぶことになった。

見学先の牛乳工場では、給食でも紙パックが多い中、ビンの牛乳を提供しており、

牛乳の元は牛の乳であることの説明や殺菌方法について説明があった。おいしい牛乳を安全に提供したいという考えから、85℃で15分殺菌しているとのことや、紙とビンの特徴とともに、ワンウェイではなく、リユースを心掛けているといった説明もされていた。

大型店舗では、加工された食品の売り場だけでなく生鮮食品のバックヤードも見学した。見学した児童は、牛乳売り場で扱っている牛乳の多さや、同じメーカーでもいろいろな種類があることに気付き、品質表示マークを見て、牛乳工場で説明された牛乳・加工乳・乳製品の違いや殺菌方法、賞味期限等の違いを実際の目で見て確認していた。給食で提供される牛乳と同じメーカーの牛乳が紙パックであったことに気付いた児童もいた。さらに、道の駅では、商品の種類や陳列個数の違い、道の駅ならではの商品にも目がいったようである。

酪農家の見学では、児童が牛を触る機会を設け、お腹に赤ちゃんのいる牛にも触ることで、命をはぐくむことの大事さも学べた。牛が自分の仔牛に与える乳が牛乳であり、お母さん牛のお腹には赤ちゃんがいて赤ちゃんが生まれて、肉牛や乳牛となって私たちの食生活を支えているという説明まであり、児童は神妙な顔をしていた。児童が目や耳、皮膚で体感したこと、命の尊さを感じる貴重な経験が、その後の授業に効果的に結びつくことになった。

### (3) 授業実践の意義と課題

本実践は、家庭科の「じょうずに使おう お金ともの」の単元で、自分にあつた牛乳を考える活動を通して、食品や製品の特徴に気付き、自分にあつた消費行動を考えることができるようになることをねらいとしている。題材として身近な牛乳を取り上げ、「自分にとって理想の牛乳の品質表示を作る」ワークが盛り込まれた授業である。

児童は、買い物の経験がほとんどなく、普段の生活からはあまり想像できない生産や販売の現場の様子を見学したことで、これまでとは違った視点から考えることができた。「おいしい牛乳を作るために低温殺菌をしている」「牧場では、牛を大事にしている」といった発言も見られた。そして、見学先で得た知識として、牛乳パックとビンの容器の特徴や、生乳、加工乳、乳飲料の違いなどを確認しながら、自分の選択の理由や意見を発表して、友人の意見もしっかり聞きながら、じっくり考えていた。

「自分ならどういう牛乳を買うか」という教師の問いに対して、「自分は牛乳が好きで開けたらすぐ飲むから、乳飲料でなく牛乳を選ぶ」と発言した児童や、「学校ではビンだが、重いから紙パックにする」と買い物の負担を考えて答えた児童もいた。「賞味期限の長いものを買う」と発言した児童には、「牛乳は生鮮食品だから、開けたらできるだけ早く飲もう」と賞味期限は開封前であることを示唆していた。また、「牛乳パックを水ですすぐ」という意見には、「すすいだ水は流しに流さないように」といったアドバイスをを行い、一人ひとりの声を大事に生かした授業にまとめあげていた。

児童の話し合いでは、自分の意見をはっきり伝え、友人の意見も受容するという過程を通して、意思決定を図らせていた。今どきの児童は、様々な情報ツールを使いこなせるので、授業でもタブレットを使って見学したときの様子を説明していたが、相手のことを考えて、話したり聞いたりできるような学習習慣が確立されていなかったら、本授業は味気ないものになっていたと思われる。

今回の企画のように、社会見学の場所の選定や下見、打合わせ、バスの手配をしたりすることは、学校での教育指導では、時間的にも金銭的にもなかなか難しい。このような機会に恵まれなかったら、どのように指導したらよいのか。例えば都会では、身近に牛がない、牛乳工場もないという場合もある。映像や音声等を用いた方法も考えられるが、実物にはかなわないのは当然である。実際に体験しているのに近いように、また、事業所の人の説明に近い形で児童の興味・関心をもたせ、それが持続するように工夫するのが、教師の力量である。各学校の置かれた状況で、どのようにしたら児童のためになる授業ができるかを思い、検討することは、その時々自分にあった商品を選ぶ消費者教育と同じ視点が求められよう。

最後に、今回の社会見学を活用した消費者教育の実践にあたっては、小野小学校の関係者はもとより、県の消費者行政、山口県地域消費者団体連絡協議会、山口県酪農農業協同組合等の関係団体、地元の企業・事業者の協力があった実現できたものであり、関係者の御協力と企画調整を図った県消費生活センター担当者の御尽力に感謝申し上げます。

◇ 社会見学の内容（宇部市立小野小学校）

1 社会見学のねらい

- 牛乳がどのように製品化され、学校やスーパーなどに届けられるのかを実際に見学することにより、生産者の願いや努力、地産地消の大切さ、販売店の工夫や努力を学ぶ。

2 社会見学の展開

視 点	場 所	活 動
○牛乳の製造過程での工夫や企業の考え方を学ぶ	○西本牧場 (牛乳工場) 	○工場・商品の概要説明、牛乳の製造ラインなどを見学 
○消費者のニーズに応じて売り上げを上げるために、お店の人がどのような工夫をしているのかを学ぶ	○サンリブ阿知須店 	○売場の概要説明、バックヤード、生鮮食品コーナー、牛乳コーナー、商品の品質管理などについて見学 ○児童が社会見学の昼食用に牛乳を購入 
○地産地消のよいところを学ぶ	○道の駅きさらあじす 	○直売所を見学 
○生乳を搾る過程、命の大切さを学ぶ	○まつなが牧場 	○牧場の概要、生乳を絞る過程、乳牛の飼育状況などを見学 